

住人十色

第
187
回



◎7月26日に集まったメンバーで撮影。今年の展示はお盆過ぎまで続く予定だそう

傘のアートで祭りに華を添える 「アンブレラスカイ」今年もまちの駅に登場

内子笹まつり実行委員会の皆さん

カラフルな傘を吊るして青空を彩る「アンブレラスカイ」が7月中旬、まちの駅Nanzeに登場しました。8月開催の「内子笹まつり」に向けた同実行委員会の企画で、夏の名物スポットとなっています。

アンブレラスカイは企画部長の宇都宮啓之さんが3年前に提案。「年々、商店街に並ぶ笹飾りが減り、人手不足で準備は大変——。でも来てくれるお客さんのために、できることを始めたかった」と当時を振り返ります。傘が並ぶ華やかな広場には、「かわいい」と喜ぶ子ども連れなどが次々訪れます。宇都宮さんは「想像以上の反響にびっくり。皆さんの喜ぶ声がやがいだから、なかなかしまえない」と笑います。風や日差しの影響で、一日2、3本は手直しや取り換えが必要だそう。宇都宮さんは傘を整え「少しでも傷まないよう、去年からロープにより戻しをつけて。年々進化しています」と汗を拭きます。

現在、傘のアートに加え、祭り本番に向けた準備が進んでいます。実行委員長の水田陽一郎さんは「地域の皆さんも一緒に盛上げてくれる。それだけ魅力ある祭り。私たちの幼い頃のように、これからの子どもたちの楽しい思い出として残ってほしい」と語りました。

編集 幸記

▽地元で最近、お母さんたちが家庭料理を持ち寄ってお話を開いているそうです。人キリで取材した森岡さんは「郷土料理にはおばあちゃんの知恵が詰まっている」と話していました。文化継承のため参加してみようかな。食べる専門で(史)▽「ぼくの夢わたしの夢」取材は給食の後、昼休みの時間にすることが多いです。「今日の給食なんやった？」と聞くと、名前も知らないメニューばかり。ABCスープとか、キャロットパンとかまだあるんでしょうか……(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

